

新潟県立塩沢商工高等学校3年生が砂防工事現場を見学します

湯沢砂防事務所は、新潟県及び長野県のうち信濃川支川の魚野川、清津川、中津川流域の約2,200km²を管轄しており、全国の直轄砂防事務所で日本一の広さです。

管内は2,000m級の山岳地を有していることもあって急峻な地形を呈し、国内有数の豪雪地帯であり、地質は風化侵食作用や火山噴出堆積物もあって極めて脆弱なため、豪雨等により土砂災害が発生しやすくなっています。

これら管内の特性を踏まえ、湯沢砂防事務所では「地域の安全・安心確保」や「魅力ある地域づくり支援」のために砂防事業を推進しているものです。

このような中で、地域の将来を担う「塩沢商工高等学校 機械システム科 土木系3年生」に砂防工事の現場を見学していただき、座学や体験を通じて砂防事業の重要性を理解し、それを支える土木技術や建設界の魅力を感じてもらうものです。

- 日時 平成30年10月9日(火)13:15~15:00(時間は予定)
- 集合場所 北ノ入川第1号砂防堰堤工事 現場事務所(新潟県南魚沼市長崎上田掛之下地先)
- 見学場所 北ノ入川第1号砂防堰堤工事(新潟県南魚沼市長崎地先)
(次頁案内図参照)
- 参加者 新潟県立塩沢商工高等学校 機械システム科 土木系3年生15名、引率者3名
- 主催 湯沢砂防事務所
- 協力 (一社)北陸地域づくり協会、(株)種村建設
- 内容
 - ①座学
 - ②現場見学・体験
 - ・土石流体感3Dシアター、土石流模型実験
 - ・バーチャルリアリティー体験
 - ・高圧洗浄体験
 - ・建設機械搭乗体験
- その他 取材は、見学会開始から終了まで可能ですが、工事現場内のため、必ずヘルメットを持参の上、着用をお願いします。
 また、地震や雨天・強風等の気象状況、その他やむを得ない事情により見学会を中止させて頂く場合もありますのであらかじめご了承下さい。
 なお、工事現場内の駐車場が狭隘のため、取材される場合は、10月5日(金)15時まで下記問い合わせ先にご連絡をお願いします。

【問合せ先】

国土交通省 湯沢砂防事務所 副所長 ふくだ みつお 福田 光生
 事業対策官 ほしの せいいち 星野 政一

TEL:025-784-2263(代表) FAX:025-784-1729

